

- 3) 鈴木栄一, 1961: 台風に伴う風害の統計的解析, 気象庁研究時報, **14**, 280—287.
- 4) 高橋浩一郎, 1954: 日本の風水害について, 日本気象学会誌, 予報研究ノート, **5**, 312—340.
- 5) 石橋激雄, 光田 寧, 1962: 強風時における突風の拡がりや突風率について, 京都防災研究所年報, 第5号, 135—138.
- 6) 光田 寧, 1963: 強風時における乱れのスペクトルについて, 京都防災研究所年報, 第6号, 104—112.

## 理 事 会 便 り

### 第9回(13期) 常任理事会議事録

日 時: 昭和40年2月8日(月) 17.00~21.00

場 所: 気象庁観測部会議室

出席者: 正野, 北岡, 桜庭, 今井, 大田, 小平, 須田, 岸保, 神山, 増田, 吉野, 安藤. 各理事(順序不同)

- 議決1. 大会の運営と発表する研究の質の向上のため, 大学や研究機関所属の会員に, 講演企画委員会から要望書をだすことを承認する.
2. 来年9月に京都で行われるバウンダリー, レーヤー(Boundary Layer)のシンポジウムは出席者に制限があるので, それに先立って東京でオープン講演会を気象学会主催で開く. なおこれに関しては5月の総会で会員の承認をえる.

3. 5月の大阪大会では, 全国理事会を第1日(11日)17.00より, 懇親会は第2日(12日)夕刻に開催する. また総会は第2日の13.00~15.00時に行う.
4. 気象学の長期計画の第3次草案を長期計画委員会の案として地球物理研究連絡委員会を通じて, 学術会議に提出することを承認する. なお, 第3次草案は5月の総会で承認を必要とするので, 3月号の天気にも全文掲載する. また, 第3次草案の付録の部分は削除する.
5. 昭和40年度の学会賞・藤原賞の候補者については推薦委員会の報告にもとづき全国理事の投票によって決める.

### 第10回(13期) 常任理事会議事録

日 時: 昭和40年3月1日(月) 17.00~20.30

場 所: 気象庁観測部会議室

出席者: 正野, 北岡, 桜庭, 大田, 今井, 小平, 須田, 岸保, 吉野, 増田, 安藤各理事(順序不同)

- 議決1. 集誌会員をB会員にふり替え, 新たに外国会員の項を設けることに関連しての定款, 細則の改訂案については細部訂正の上, 理事会ならびに総会に提出することを承認する.
2. 中国物理儀器技術考察団が3月20日頃来日するので, 当学会で歓迎会を催すこととし, 期日その他は国際交流委員会で検討する.

3. 気象学の長期計画については, さきの第3次草案の線に沿って, その実現をはかるため, 実行委員会のような組織をつくることとし, その具体案を長期計画委員会で検討する. また第3次草案の付録となっていた, 計画概要は, 研究連絡委員会の希望もあるので, これを必要ならば長期計画委員会で適当な修正を加えて付属文書として学術会議に提出することを承認する.
4. 須田建常任理事の転勤に伴う辞任を承認し, 第13期の役員選挙の結果により, 須田滝雄会員を後任に依頼する.

#### 「書評」

大後美保・庄司光 編  
生活科学ハンドブック  
朝倉書店

地方の気象台, 測候所のように民生に直接結びついているところでは, 気象に関連した生活的なことについて, 実に多方面な質問を受ける. もちろん, それに一々答える義務はないが, 衣服と季節との関係とか, 寝具の吸湿性, 寒さと栄養, 暖房と気象条件, 照明と天空等々

といったことに関する質問には何とか答えたいと思うことがある.

このようなときにおいて一通りの解答が引き出せる便利な本がある. “生活科学ハンドブック”がそれである. 気象協会の大後美保氏, 大阪市立大の庄司光氏の編集になるもので衣・食・住・一般科学の四部門を850項目にわたって要を得て解説している. 34名の専門家執筆陣をそろえているので内容は信用がおける. 1冊において便利なお本である. (神山恵三)